

經濟水道委員會

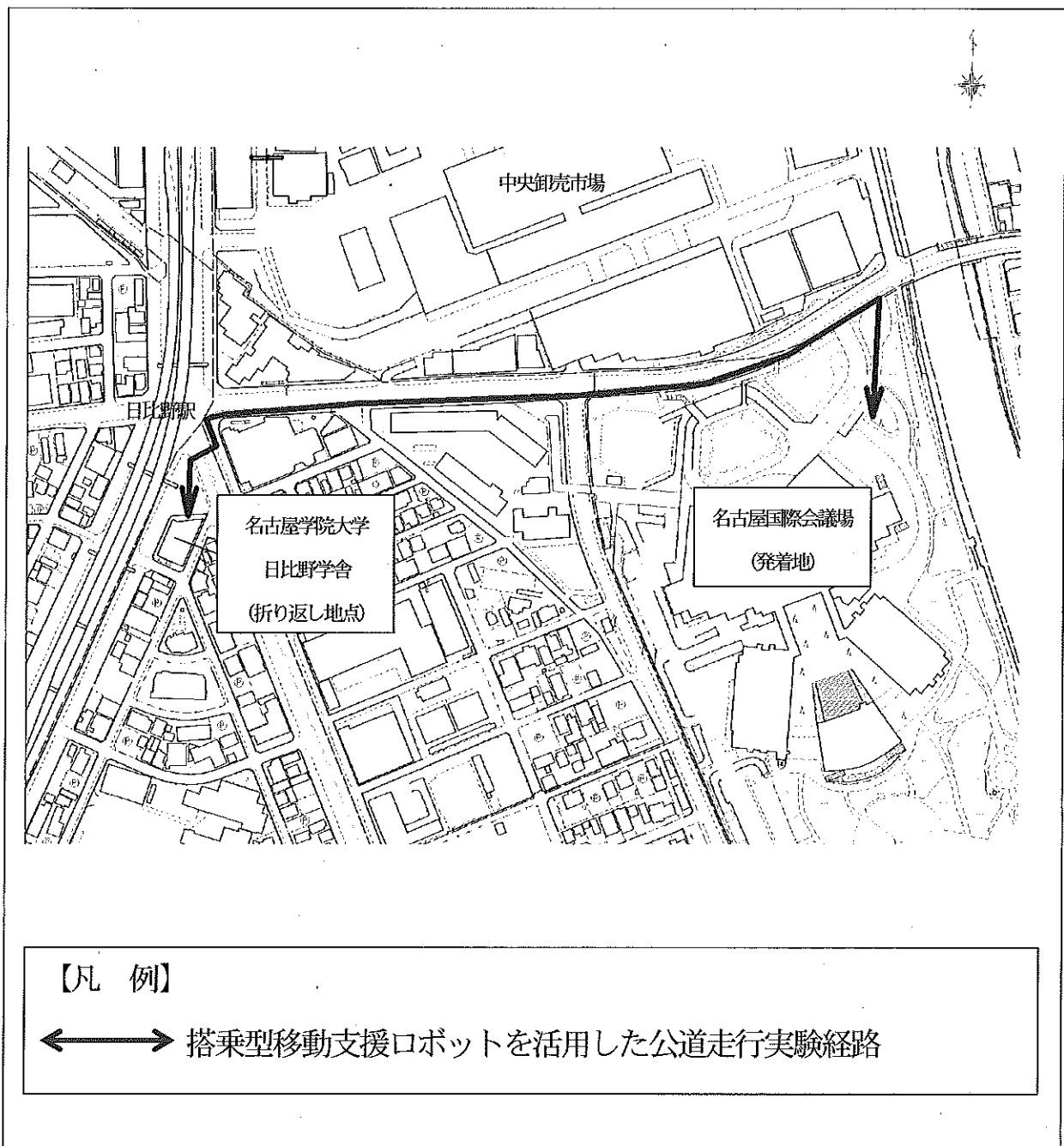
說明資料

平成30年3月12日
觀光文化交流局

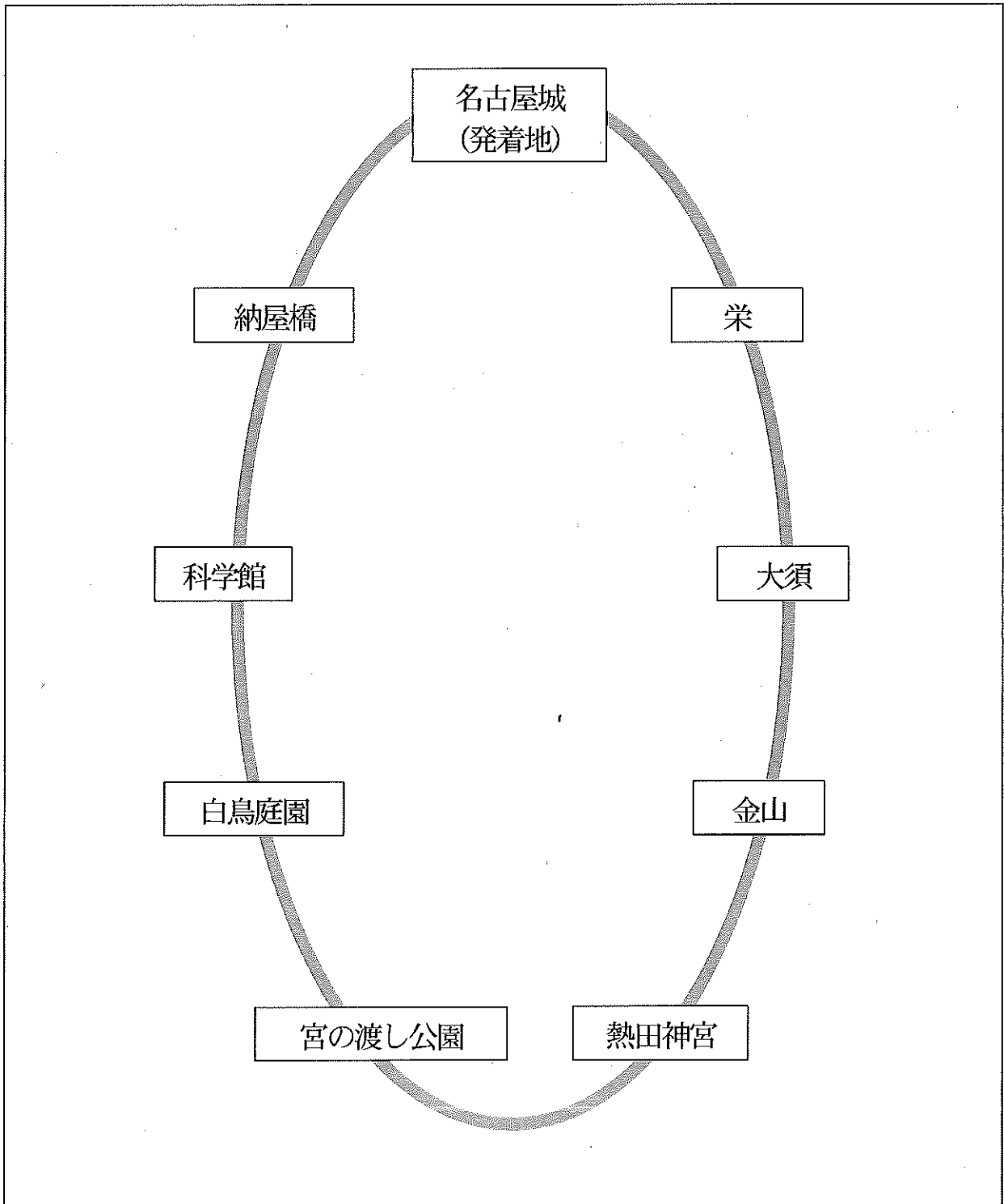
目 次

	頁
1 平成29年度搭乗型移動支援ロボットを活用した公道走行実験経路……………	1
2 なごや観光ルートバス南北ルートの検討案……………	2
3 観光案内板の広告掲載イメージ……………	3
4 観光案内板の整備地点案……………	4
5 ランス市姉妹都市提携に関する放送内容への抗議……………	6
6 国際展示場第1展示館の移転整備・維持管理の事業費内訳……………	7
7 国際展示場の他都市類似施設との比較……………	8
8 国際展示場による経済波及効果……………	9
9 空見地区における大規模展示場整備に関する県との調整状況……………	10
10 市内で10万㎡規模の展示場整備が必要な理由……………	12
11 国際会議場屋根付歩廊の整備……………	13
12 国際会議場の整備に関する調査……………	14
13 名古屋城総合事務所における学芸員……………	15
14 名古屋城の収蔵品及び展示状況……………	16
15 各局の名古屋城バリアフリーに関する現状の課題認識・意見……………	17
16 名古屋城バリアフリー検討調査……………	18
17 天守閣閉館から天守閣木造復元竣工までのスケジュール……………	19
18 名古屋城天守閣木造復元に向けた調査結果の概要……………	20
19 姫路城入場者数の推移……………	25
20 平成30年度天守台石垣調査……………	26
21 天守閣閉館後の天守台石垣調査作業範囲案……………	27

1 平成29年度搭乗型移動支援ロボットを活用した公道走行実験経路

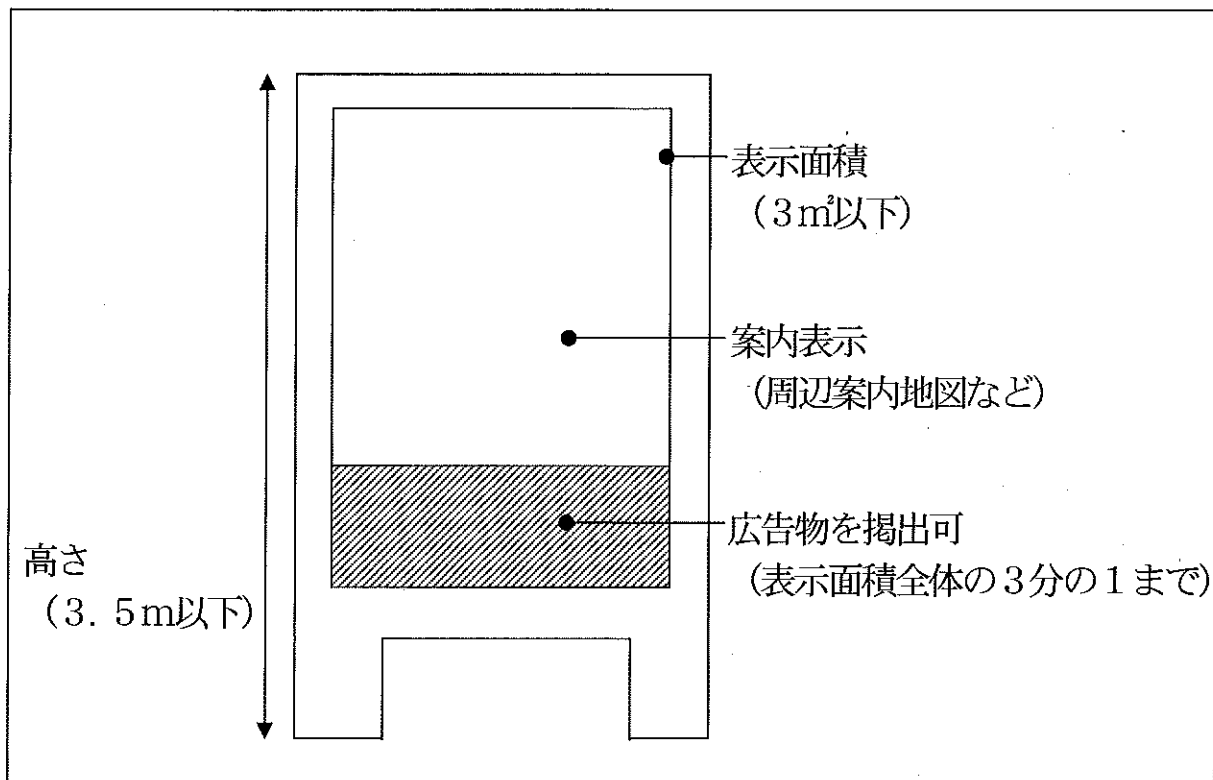


2 なごや観光ルートバス南北ルート of 検討案

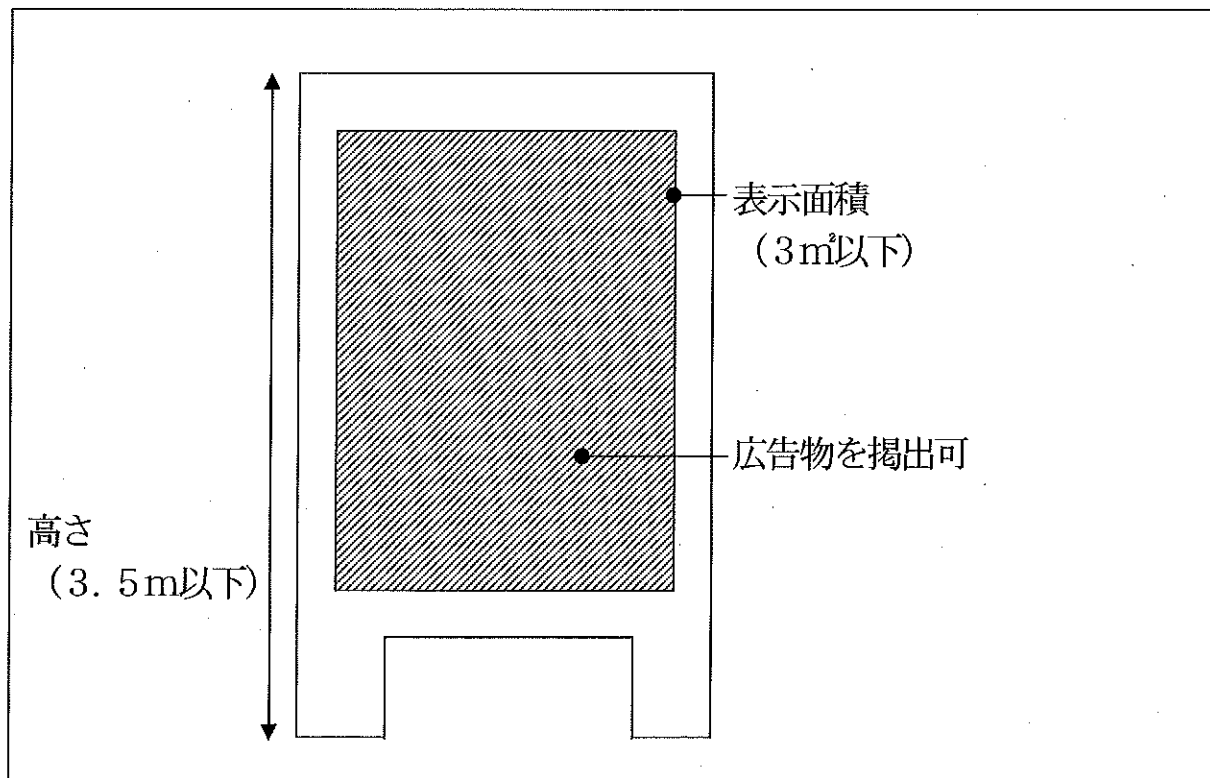


3 観光案内板の広告掲載イメージ

(1) 表面



(2) 裏面



4 観光案内板の整備地点案

(1) 考え方

- ・「名古屋魅力向上・発信戦略」に示す名古屋城を核とした2つの魅力軸上にある観光施設（歴史観光、産業観光関連施設）並びに集客性の高い施設等
- ・なごや観光ルートバス「メーグル」沿線施設
- ・上記観光施設等の最寄り駅

(2) 一覧

観光施設等	最寄り駅
中村公園、豊國神社、秀吉清正記念館	中村公園
ノリタケの森	亀島
柳橋中央市場	名古屋
科学館、美術館、でんきの科学館、納屋橋、御園座	伏見
オアシス21、愛知芸術文化センター	栄
久屋大通庭園フラリエ	矢場町
覚王山日泰寺、揚輝荘	覚王山
東山動植物園、東山スカイタワー	東山公園、星ヶ丘
名古屋ボストン美術館、日本特殊陶業市民会館	金山
真宗大谷派名古屋別院	東別院
大須商店街、大須観音	上前津、大須観音
名古屋テレビ塔	久屋大通
名古屋城、市政資料館、愛知県体育館、名古屋市役所	市役所
名城公園	名城公園
八事山興正寺	八事
徳川美術館、徳川園、蓬左文庫	大曾根
ナゴヤドーム	ナゴヤドーム前矢田

観光施設等	最寄り駅
パロマ瑞穂スポーツパーク	瑞穂運動場東、 瑞穂運動場西
熱田神宮	伝馬町、神宮西、 神宮前(名古屋鉄道)
宮の渡し公園	伝馬町
白鳥庭園	神宮西
名古屋国際会議場	日比野、西高蔵
名古屋港水族館、シートレインランド	名古屋港
名古屋能楽堂	浅間町
鶴舞公園、公会堂	鶴舞
円頓寺商店街、四間道の町並み	国際センター
旧川上貞奴邸、文化のみち榎木館、 三菱東京UFJ銀行貨幣資料館	高岳
徳興山建中寺	車道
博物館	桜山
リニア・鉄道館、国際展示場、メイカーズピア、 LEGOLAND® JAPAN	金城ふ頭 (あおなみ線)
グローバルゲート	ささしまライブ (あおなみ線)
荒子観音寺	荒子(あおなみ線)
日本ガイシスポーツプラザ	笠寺(JR)
トヨタ産業技術記念館	栄生(名古屋鉄道)
笠寺観音	笠寺(名古屋鉄道)
有松の町並み(有松・鳴海絞会館)、桶狭間古戦場公園	有松(名古屋鉄道)
名古屋港ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、 名古屋フェリーふ頭、歴史の里しだみ古墳群、 東谷山フルーツパーク、農業センター	—

5 ランス市姉妹都市提携に関する放送内容への抗議

(1) 経緯

区 分	内 容
平成30年2月7日	番組放送
3月6日	放送局へ文書で抗議
3月8日	放送局より事実を確認せず放送した旨謝罪の電話

(2) 放送内容（一部抜粋）

区 分	内 容
発言者	私、4年がかりで、名古屋市とランス市の、ドンペリのある市のランス市を姉妹都市にしたんですね。
司会者	姉妹都市にした。
発言者	姉妹都市にしたんです。だから名古屋は。
司会者	服部さんが姉妹都市にしたの。
発言者	しました。がんばって。

(3) 提携の経緯

区 分	内 容
平成25年 6月	ランス市から画家藤田嗣治をきっかけとした姉妹都市提携の申し入れ
平成25年10月	名古屋市美術館とランス美術館の友好提携に関する覚書を締結
平成26年10月	市公式代表団及び市会公式代表団がランス市を訪問し、名古屋市長より「姉妹都市提携を見据えた協議を始めてまいりたい」旨を表明
平成27年 7月	ランス市長が来名し「姉妹都市提携に向け話をしたい」旨を表明
平成29年10月	姉妹都市提携調印式

6 国際展示場第1展示館の移転整備・維持管理の事業費内訳

(単位：百万円)

区 分	金 額
新第1展示館設計費・工事監理費	256
新第1展示館建設費	28,000
現第1展示館解体撤去費	1,176
維持管理費	3,934
民間資金金利等	990
計	34,356

7 国際展示場の他都市類似施設との比較

区 分	建設費	展示床面積	延床面積	整備単価
ポートメッセなごや 新第1展示館	280億円	20,000m ²	36,200m ²	77万円/m ²
幕張メッセ	558億円	72,000m ²	136,296m ²	41万円/m ²
東京ビッグサイト	2,085億円	95,420m ²	251,243m ²	83万円/m ²
パシフィコ横浜	413億円	20,000m ²	51,000m ²	81万円/m ²
インテックス大阪	511億円	70,078m ²	/ 118,419m ²	43万円/m ²
マリンメッセ福岡	297億円	9,100m ²	40,631m ²	73万円/m ²
愛知県国際展示場	341億円	60,000m ²	86,000m ²	40万円/m ²

注 整備単価＝建設費／延床面積

8 国際展示場による経済波及効果

区 分	金 額
直接効果	472億円
間接波及効果	331億円
県内合計（うち市内分）	803億円（618億円）

注 平成26年度「名古屋市地域産業成長戦略基礎調査報告書」による

9 空見地区における大規模展示場整備に関する県との調整状況

区 分	内 容
平成29年 3月23日	「空見地区における大規模展示場整備に関する調査」予算が附帯決議付き可決
4月 7日	県担当課へ空見等について打合せを要請 県担当課より県としては既に結論を出しているとの回答
5月 8日	MICE推進協議会総会で、市観光交流部長より「展示会事業の誘致、活性化についても、県市はじめ関係者が協調して進めていく必要があると考えており、今後また相談したい」旨、発言
7月 5日	県担当課へ空見と展示会研究事業についての協議を要請。 県担当課より、空見に関する市のスタンスに変化がない状況では困難との回答
8月23日	県担当課へ市展示場新第1展示館と展示会研究事業について、 県振興部長、市観光文化交流局長との面談を要請
8月31日	県担当課より、上記面談について検討の時間がほしい旨、回答
9月25日	県担当課へ市展示場新第1展示館整備と展示会研究事業について、 県振興部長と市観光文化交流局長の面談を要請
9月29日	県担当課より、上記面談に関し、実施困難の旨の回答
10月 6日	県担当課へ11月15日開催の「展示会産業シンポジウム」について参加を依頼。了承を得る
11月15日	市主催「展示会産業シンポジウム」に県職員2名が参加
12月28日	市観光文化交流局長が県振興部長を訪問 県国際展示場及び市展示場新第1展示館の現状について、情報交換

区 分	内 容
平成30年 1月19日	<p>市長より知事に電話。以下の事項を伝達</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 今年度、県との調整を行ってきた結果として調査実施に関し、現段階での回答が必要 ② 文書を届けに行くので、文書で回答してほしい ③ 県からの回答をもって、東邦ガスに相談をする ④ 本市の産業競争力を高めるために大規模展示場整備は必要と考えている
	<p>知事より市長に対し電話。以下のとおり回答 「県の考えは昨年3月に示しているが、再度回答するので、文書は担当部局に渡しておいてもらえばよい」</p>
1月22日	<p>市長、廣澤副市長、観光文化交流局長、担当主幹の4名で県振興部長に申入れ文書を持参。振興部長不在のため、振興部地域政策課長に文書を渡す</p>
1月29日	<p>県担当課より、申入れ文書に対する回答を受領</p>
2月 9日	<p>県担当課に対し、市展示場に関する次年度予算について説明したい旨を要請</p>
2月19日	<p>県担当課に対し、市展示場関連の次年度予算について説明 県担当課より県展示場関連の次年度予算について、説明を受ける</p>

1.0 市内で10万㎡規模の展示場整備が必要な理由

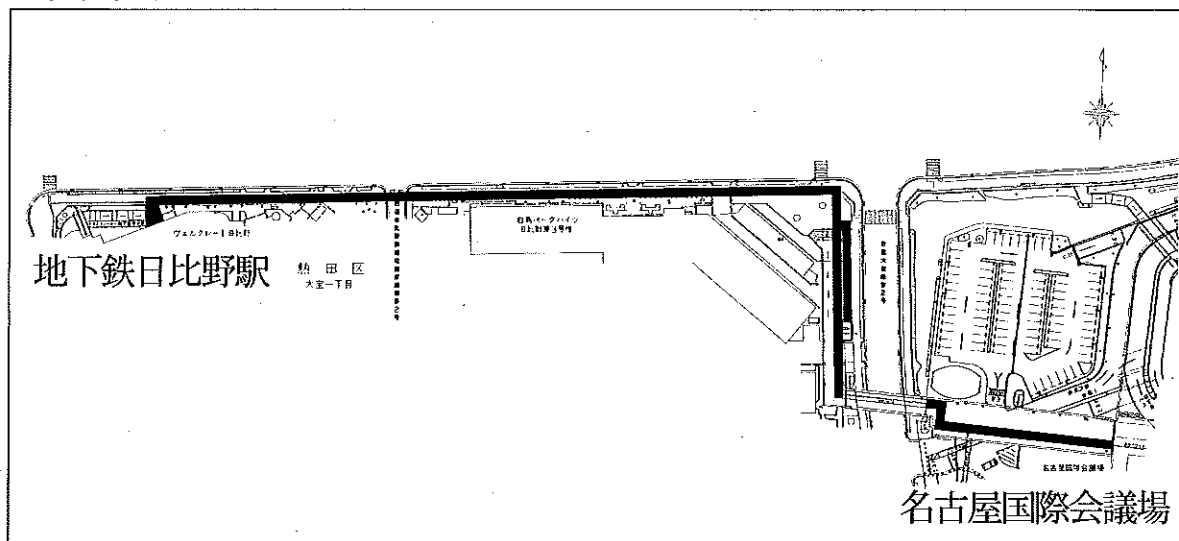
- ・平成25年度から26年度に本市が行った「名古屋市における展示場のあり方構想懇談会」において、本市には10万㎡規模の展示場が成立する資質があるとの意見があった
- ・世界有数のものづくり産業集積地となった名古屋圏の産業力をさらに一段高め、名古屋が世界のイノベーションをリードし推進する地となるよう、より大規模な展示場整備を進める必要がある
- ・現状では、国内の主要展示会が東京に一極集中しており、こうした状況を打破するためには、東京ビッグサイトと同等以上の展示場整備に戦略的に取り組むことが求められる

注 平成27年度「大規模展示場の整備等に関する調査業務報告書」による

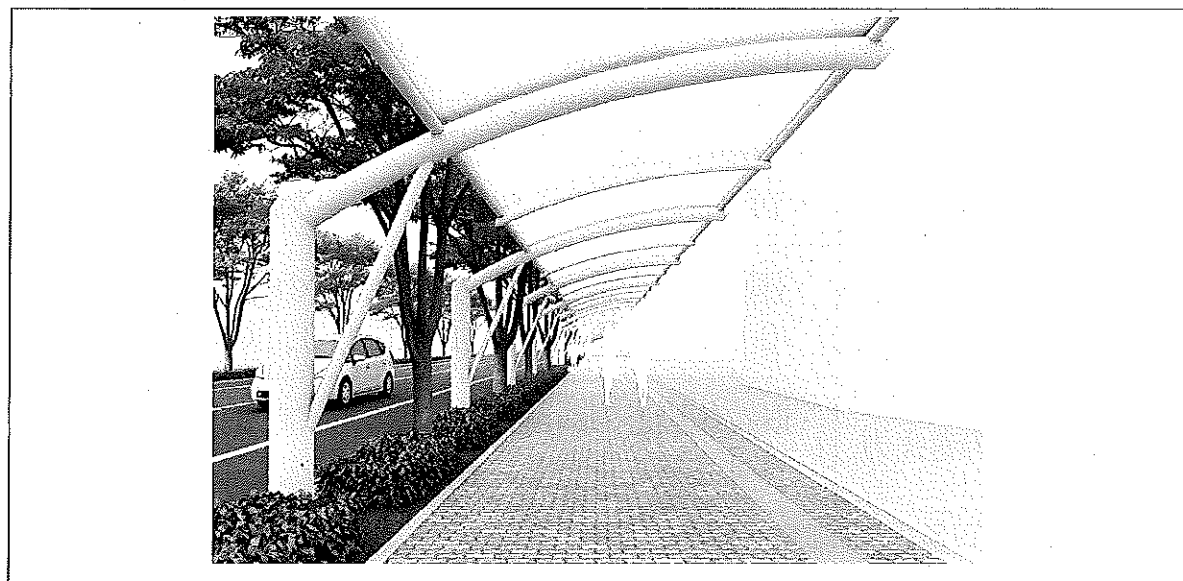
1.1 国際会議場屋根付歩廊の整備

(1) 概要

ア 位置図



イ イメージ図



(2) 財源内訳

(単位：千円)

区 分	金 額
地 方 債	255,000
一 般 財 源	85,000
計	340,000

1.2 国際会議場の整備に関する調査

(1) 調査の検討状況

ア 大規模改修

区 分	内 容
考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメントの観点から構造体を残し、機能向上を図りつつ内外装や設備機器の更新等を実施 ・建設当時と比べ高度な社会的要求水準、法改正等に対応
想定される主な改修項目	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹設備や舞台・音響・情報通信設備等の更新 ・天井耐震改修、外壁改修・屋上防水・防火防煙対策 ・ユニバーサルデザイン対応

イ 機能強化

区 分	内 容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会議開催件数が増加する中、他都市MICE施設の展示面積拡張計画が進められ、都市間競争が激化している ・大規模会議は「展示会併設型」が多い ・利用者からも展示スペース不足が指摘されている
規模の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の展示会併設型大規模会議の約8割が展示面積約2,000㎡～10,000㎡であり、対応できる施設が必要
配置の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設との利用者動線の接続や、搬出入動線の確保のしやすさ等を考慮し、敷地内の南広場東側への配置を想定

注 第3回名古屋国際会議場のあり方懇談会の資料による

(2) 名古屋国際会議場のあり方懇談会における主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・世界トップレベルのものづくり産業や、層が厚くレベルの高い大学があるのは名古屋の強み ・開催件数が多く、規模も大きい医学及び理工学系学術会議や、愛知・名古屋が強い産業分野をターゲットとすべき ・学術会議でもスポンサーの展示会出展希望意向が強く、展示機能充実は重要 ・ユニバーサルデザイン対応が必要 ・機能強化に対応した駐車場対策や、近隣のホテルとの連携等の検討が必要

1.3 名古屋城総合事務所における学芸員

(1) 体制

(単位：人)

区分	平成29年度	平成30年度
主幹	1	1
主査 (教育委員会から併任)	1	1
学芸員	3	5
嘱託員	2	6
計	7	13

注 平成29年度は、上記以外に教育委員会から学芸員2人の応援を受けている

(2) 将来に向けての考え方

平成29年度策定予定の特別史跡名古屋城跡保存活用計画に基づき、名古屋城全体の保存・活用・整備を確実に進めるため、他都市の先行事例である熊本城調査研究センターや金沢城調査研究所のような専門的な調査研究体制を目指す

1.4 名古屋城の収蔵品及び展示状況

(1) 収蔵品

区 分	件 数
本丸御殿障壁画	1,049
昭和実測図、拓本、ガラス乾板	1,590
刀剣類	653
古文書、武具甲冑等	1,919

(2) 大天守閣の展示状況

区 分	内 容	件 数
7階	展望室	—
6階	機械室	—
5階	金鯨模型、石引き体験、三英傑等	24 (8)
4階	武具甲冑、石垣、駕籠等	17 (7)
3階	本屋、武具屋、台所、御用部屋等	15 (12)
2階	企画展示室	—
1階	本丸御殿障壁画、本丸御殿模型、刀剣、 戦災と名古屋城等	33 (12)
地階	金鯨模型、黄金水井戸杵模型等	4

注 平成30年3月12日現在、() 書きは収蔵品の件数

15 各局の名古屋城バリアフリーに関する現状の課題認識・意見

区 分	内 容
市民経済局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 史実どおりの階段を車いすで円滑に上がれる技術（新技術）の知見は、現在、工業研究所では持ち合わせていない ・ 新技術を開発している企業は不明である ・ 新技術に関する企業等調査を行った方が良い
健康福祉局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者団体や障害者団体からの情報収集は必須 ・ 高齢者や障害のある方も含めた様々な方にとって、バリアフリーは必要不可欠
子ども青少年局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世代からの情報収集をした方が良い
緑政土木局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的には、バリアフリー法や移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例、福祉都市環境整備指針等を順守することが必要である
教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他城郭の状況や有識者等の意見をまとめて、どのように判断するか検討する必要がある
交 通 局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地下鉄については、ホームから地上までエレベーターにより移動できるルートを確保している ・ 市バス車両については、バリアフリー対応のノンステップバスとしている

16 名古屋城バリアフリー検討調査

(1) バリアフリーの現況調査

- ・名古屋城へのアクセスについて、地下鉄市役所駅や名古屋城正門前のバス停から、名古屋城の正門及び東門までのアクセスルートの現況調査
- ・名古屋城の正門及び東門から城内や天守までのアクセスルートにおける、敷地内の現況調査
- ・現況調査結果に基づき、バリアフリー対策や改善施策を検討

(2) 木造復元天守の昇降に関する技術調査

ア ハード対策

- ・木造復元天守の昇降に関するバリアフリーにつながる技術を有する企業または研究者を調査
- ・その結果に基づき、階段の昇降が可能な技術研究開発に取り組んでいる企業または研究者に、開発の実現性や課題等について調査研究を依頼

イ ソフト対策

- ・人力でのサポートによる仕組み等、階段の昇降に関する研究や実践を行っている研究者または団体を調査
- ・その結果に基づき、階段の昇降に関する知見を有する企業または研究者に、木造復元天守での課題等について調査研究を依頼

(3) 有識者による意見交換

- ・調査結果を踏まえて、見識を有する学識者や有識者、関連企業、福祉関係者等で構成する会議を設定し、意見交換を行う

1.7 天守閣閉館から天守閣木造復元竣工までのスケジュール

区 分		内 容
平成30年度	5月	天守閣閉館
	11月	現状変更許可取得
	12月	史跡内仮設工事着手
	3月	外部エレベーター取り壊し工事着手
平成31年度	9月	現天守閣取り壊し工事着手
平成32年度	6月	天守閣木造復元工事着手
	8月	素屋根見学施設公開開始
平成34年度	12月	天守閣木造復元竣工

18 名古屋城天守閣木造復元に向けた調査結果の概要

(1) 名古屋城入場者数見込み及び収支計画

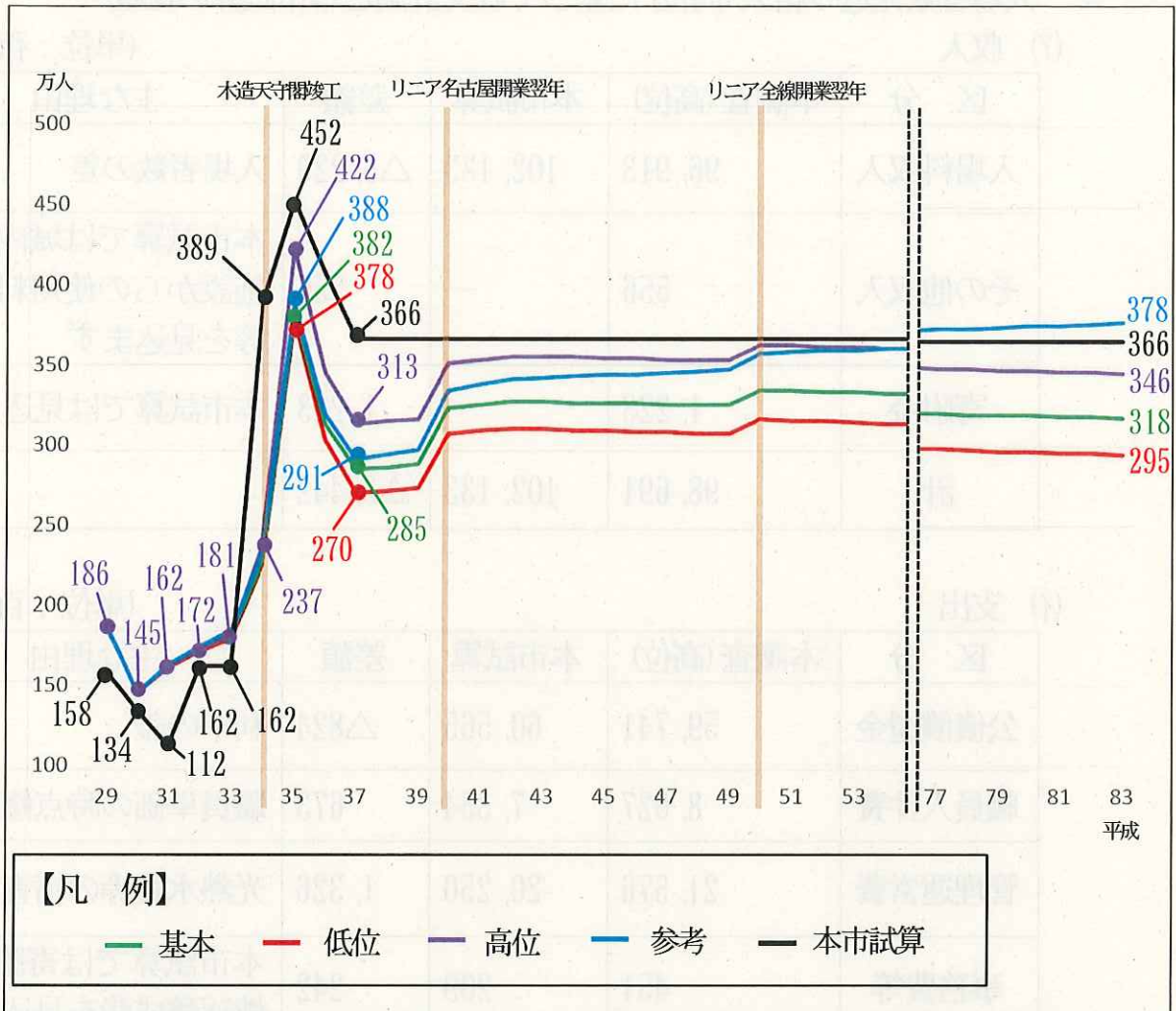
ア 入場者数見込みの考え方

人口減少や交流人口の増加、リニア中央新幹線の開業など、本市を取り巻く社会情勢の変化を踏まえたうえで、来場意向アンケートを実施し入場者数を次の区分ごとに推計

イ 入場者数見込みの区分

区 分	内 容
基 本	社会情勢の変化とアンケート結果を踏まえ、「新規の入場者数」・「リピートの入場者数」を考慮した場合
低 位	「基本」に加え、日本経済が低成長で推移した場合
高 位	「基本」に加え、名古屋城内で魅力的なイベントを実施することにより、名古屋城への来訪頻度が増加した場合
参 考	「基本」に加え、市内の外国人訪問率を過去5か年のトレンドに当てはめた場合

ウ 入場者数見込みの比較



注 本市試算（平成28年度）は、他城郭の入場者数の増減実績から推計

エ 入場者数見込み結果(高位)に基づく収支計画と本市試算の比較

(7) 収入

(単位：百万円)

区 分	本調査(高位)	本市試算	差額	主な理由
入場料収入	96,913	102,133	△5,220	入場者数の差
その他収入	556	—	556	本市試算では城内便益施設からの使用料収入等を見込まず
寄附金	1,223	—	1,223	本市試算では見込まず
計	98,691	102,133	△3,442	

(イ) 支出

(単位：百万円)

区 分	本調査(高位)	本市試算	差額	主な理由
公債償還金	59,741	60,565	△824	利率の差
職員人件費	8,027	7,354	673	職員単価の時点修正
管理運営費	21,576	20,250	1,326	光熱水費等の精査
事務費等	451	209	242	本市試算では寄附等の機運醸成費を見込まず
起債手数料	368	370	△2	
集客促進費	1,000	200	800	本市試算では5周年ごとに2千万円を計上 本調査(高位)では毎年2千万円を計上
修繕費	3,086	3,086	—	
基金積立	4,443	10,099	△5,656	
計	98,691	102,133	△3,442	

注 単位未満の端数処理のため、計が一致しない場合がある

(2) 民間活力の導入策

ア 概要

指定管理制度等を導入することで、経営効率を高め、「基本」の入場者数見込みにおいても収支均衡が図られる

イ 具体的な方策

区 分	方 策
方策1	・ 指定管理制度の導入による経費削減
方策2	・ 方策1の実施 ・ 特別史跡外での便益施設の設置許可による使用料収入の確保

ウ 民間活力の導入における収支

(7) 収入

(単位：百万円)

区 分	本調査(基本)	方策1	方策2
入場料収入	89,431	89,431	89,431
その他収入	556	556	1,781
寄附金	1,223	1,223	1,223
計	91,210	91,210	92,435

(8) 支出

(単位：百万円)

区 分	本調査(基本)	方策1	方策2
公債償還金	59,741	59,741	59,660
職員人件費	8,027	6,334	6,334
管理運営費	20,868	20,184	20,184
事務費等	451	451	451
起債手数料	368	368	368
集客促進費	200	200	200
修繕費	3,086	3,086	3,086
基金積立	△1,531	845	2,152
計	91,210	91,210	92,435

注 単位未満の端数処理のため、計が一致しない場合がある

(3) 天守閣の木造復元に伴う経済波及効果

ア 概要

- ・ 建設工事による経済波及効果は約870億円
- ・ 観光消費による経済波及効果は約160～200億円/年

イ 建設工事による効果

(単位：百万円)

本調査(基本)	本市試算
87,146	98,500

ウ 観光消費による効果

(単位：百万円)

区分	内容	本調査(基本)	本市試算
平成35年度	木造天守閣竣工1年目	19,025	—
平成36年度	木造天守閣竣工2年目	16,179	—
平成40年度	木造天守閣竣工6年目 (リニア開業翌年)	19,552	10,000
平成45年度	木造天守閣竣工11年目	19,506	10,000

19 姫路城入場者数の推移

(単位：人)

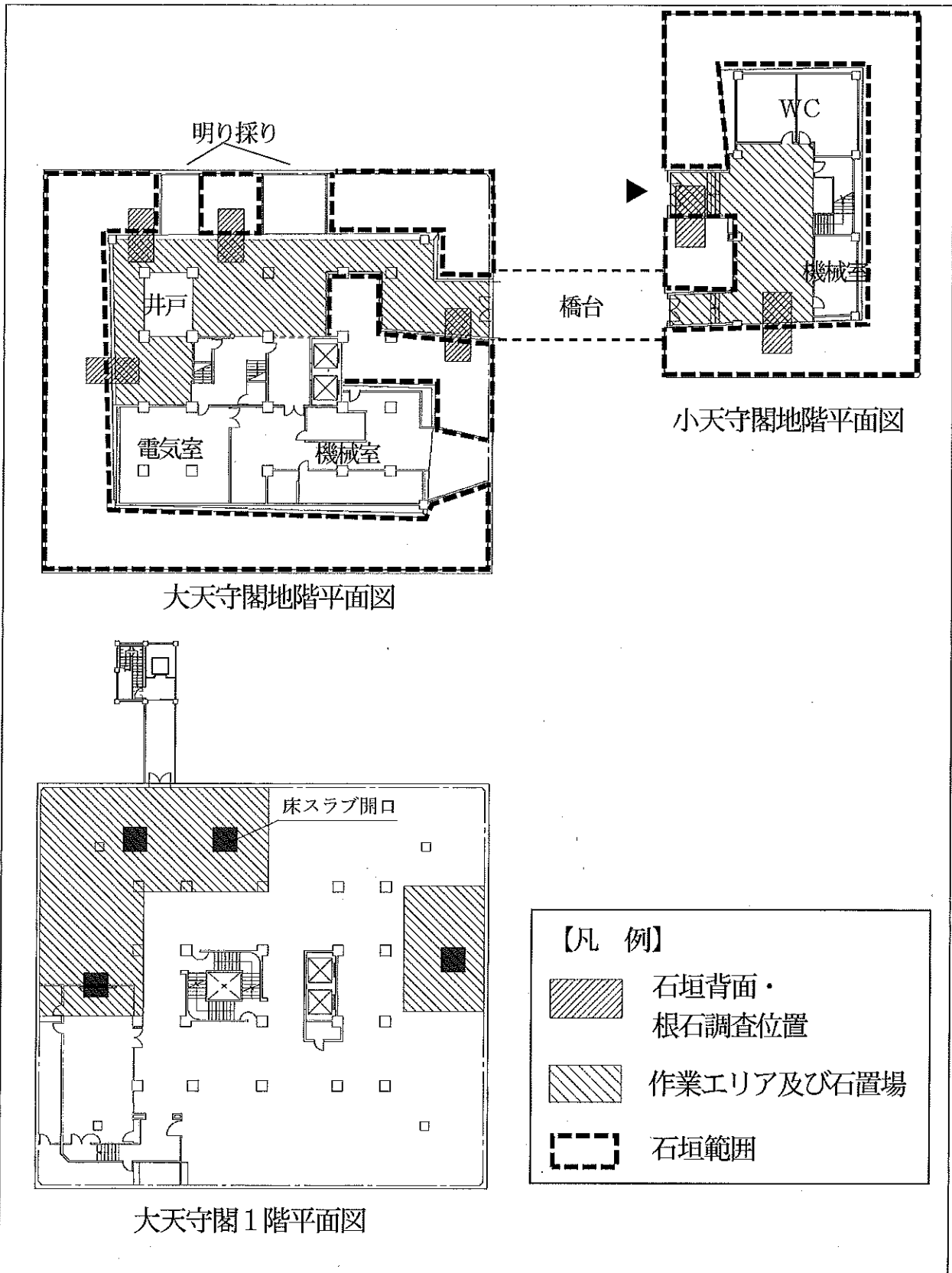
区 分	入場者数	備 考
平成20年度	1,195,004	
平成21年度	1,561,602	平成21年10月9日大天守保存 修理工事着工
平成22年度	457,588	平成22年4月12日大天守見学 休止 平成23年3月27日修理見学施 設「天空の白鷺」開設
平成23年度	610,505	
平成24年度	710,846	
平成25年度	880,546	
平成26年度	918,643	平成27年3月26日大天守保存 修理工事終了
平成27年度	2,867,051	
平成28年度	2,112,189	

20 平成30年度天守台石垣調査

(単位：千円)

区 分		内 容	金 額
史実調査		・歴史的文献資料の分析	16,100
外部	測量調査	・三次元点群データ作成	235,700
	現況調査	・石材調査 ・劣化度調査 ・レーダー探査 ・モニタリング調査	
	発掘調査	・小天守廻りの発掘調査	
穴蔵	測量調査	・立面図、縦横断面図、 平面図作成 ・三次元点群データ作成	35,200
	現況調査	・石垣カルテ作成 ・石材調査 ・劣化度調査 ・レーダー探査	
	根石・背面調査	・石垣の根石及び背面状況 を確認	
計			287,000

2 1 天守閣閉館後の天守台石垣調査作業範囲案



注 調査位置については、まだ石垣部会の意見をいただいている

